

ほ 多 当

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～
【今月の一冊】 メモの魔力 The Magic of Memos
前田 裕二 著 幻冬舎
ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2019年4月1日 Vol. 198
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
ライフコンサルタント 渡邊 敏 徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

頭を使わない？

最低50歳まで現役と言ってきた大リーグ・マリナーズのイチロー選手が「有言不実行の男になってしまった」という言葉を残して、プロ野球選手としての第一線から引退することを表明しました。数々の記録と実績を残してきたイチローに拍手を送りたいと思います。

1時間以上行った引退会見の中で私が気になったことがあります。それは「2001年に僕がアメリカに来たが、2019年現在の野球は全く別の違う野球になりました。まあ、頭を使わなくてもできてしまう野球になりつつあるような……」というイチローのこんな発言でした。

“頭を使わなくてもいい”とは、ビッグデータに基づいて効率的に行うということです。ビッグデータの運用はフロントだけでなく、選手側も取り入れられるようになってきました。良い意味では、客観的に選手を判断できるので効率的に強化できる。その一方で面白みのない野球につながっているとも言われています。

状況をどう読むか。守備位置はどうか。野手の能力はどうか。投手はどんな攻めをしてくるのか。その中で得点につなげるには、どんなアプローチがベストなのか。ありとあらゆる引き出しの中から、最善策を探す。投手のデータも頭に入れ、どう角度をつければヒットになるかも把握している。経験、データ、技術。すべてが集約されてはじめて1本のヒットにつながり得点を生みます。

頭を使った複雑なプロセスがとても軽視されてきています。データそのものを否定するものではありませんが、危惧しているのはそれとの距離感です。

スポーツに限らず、あらゆる世界がビッグデータを活用して効率的に行う傾向が強くなってきています。“職人技”とかという言葉はこれからあまり聞かなくなっていくような気がします。

さらにはAI(人工知能)の発達により、あらゆるものが最適な状況を判断し指示してくれる時代がきます。現在では、働き方改革ということがよく言われますが、「生きがい」や「やりがい」など、

どんな使命感を持って仕事をして、どのように社会に貢献していくかということがとても重要になってきます。

「頭を使わない」ということが当たり前になることがまだまだ想像できませんが、大きく社会が変わっていくことは間違いなさそうですね。時代に残されないように頭を使っていきたいと思います。



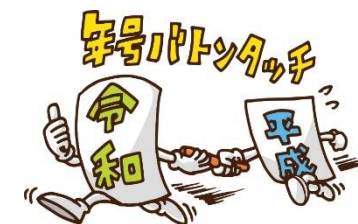
改元

「平成」から「令和」に元号が改元されようとしています。“改元”とは、年号(元号)を改定する国家の行事です。君主(皇帝や王、天皇)の在位期間を基準に定め、治世途中で再び元年から始めることを“改元”と呼びます。

世界最初の元号は、紀元前に存在した中国の王朝・前漢の武帝が定めた「建元」です。日本最初の元号は、飛鳥時代の大化の改新の際に定められた「大化(645年-650年)」になり、大化以降247番目の平成(1989年1月8日-2019年4月30日)にまで至っている。

1989年(昭和64年)1月7日に昭和天皇の崩御にともない、皇太子明仁親王が即位し、同日元号法に基づき改元の政令が出され「平成」が始まりました。「平成」は、『史記』の中から、内平外成(内平かに外成る)、『書経』より地平天成(地平かに天成る)を引用し、「国の内外、天地とも平和が達成される」という願いが込められていると言われています。

私たちにとっての「平成」はどんな時代だったのでしょうか。世界中でテロが起こり、自然災害や大規模地震、環境破壊が深刻化し地球が悲鳴をあげています。自分中心の考え方が強くなり「～ファースト」という言葉もよく耳にするようになりました。自国の利益が最優先という時代の中で、次の時代『令和』はどんな社会になっていくのだろうか？平和であることはもちろんですが、閉塞感のある混沌とした時代から、夢や希望にあふれる社会になることを願います。



【座右の銘にしたい名言】



今日一日、怒らず、恐れず、悲しまず、正直、親切、愉快地に
生きよ。

(中村天風/日本初のヨーガ行者)